行政視察報告書　　議会運営委員会　　　2018年7月17日(水)

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　11番　石井通春

|  |  |
| --- | --- |
| 視察先 | 愛知県岩倉市 |
| 研修テーマ（調査項目） | 議会基本条例の検証、意見交換会 |
| 1. 調査内容をどう評価するか

・定数17名のほとんどが視察対応に当たるなど今まで見たことがない対応がされていた。議員全員で問題を共有、勉強をするという姿勢であった。・正副議長は立候補制だが、質疑応答は行われていない。・市議会サポーター制度を実施し、議会ランキング度上位の主な要因は、この部門（市民参加）が大きい・傍聴者の発言も許しているとか（特別委員会等）・議員間討議は委員会で実施されており、将来は本会議実施へと発展を見据えている・意見交換会（ふれあいトーク）で出た内容を主に、常任委員会での委員会での質問として当局にぶつけている。（機関の質問）・基本条例の見直しは、全議員を3班に分けた推進協議会（毎月1回実施）（今年度のチームは、ICT,PCT,市民参加の3チーム）議論を経て、年度末に議決設置した検証特別委員会で条例改定を行う。3チームの全体調整は全員協議会1. 本市に反映できると思われる点

・基本条例の検証体制は非常に進んでいる。逆質問を受ける形で本市議会の基本条例（公聴会参考人制度、政策立案のパブコメ実施等）未実施が明らかにされてしまうほどであった。条例ありきではいけないと痛感した。議会運営委員会での議論が必要。・市議会サポーターの応募が少ないのはここも共通していた。解決策は難しい様子。・機関質問も一つの方法だが、常任委員会での所管事務調査を主要授業に絞り込み、執行部との質疑応答を経て委員会提言に結びつける事が有用では（かつて一部本市議会でもやっていた）・議員間討議は市民の希望も多い。ネット中継を含めた本会議場での実施に向け進めるべき。・視察対応は活性化委員会でもいいと思うが、全議員の輪番制なども視野に入れてはどうか。（お互いの資質向上につながる）1. その他（感想・意見）

・広報広聴部門だが、若者と市議会のお結びトーク（議員が各班に分かれて身近な問題で意見交換をする）は参考になる。集客に困る事はないと言っていたが。 |